ヴォトリエント 腎細胞がん 作用機序

ヴォトリエント

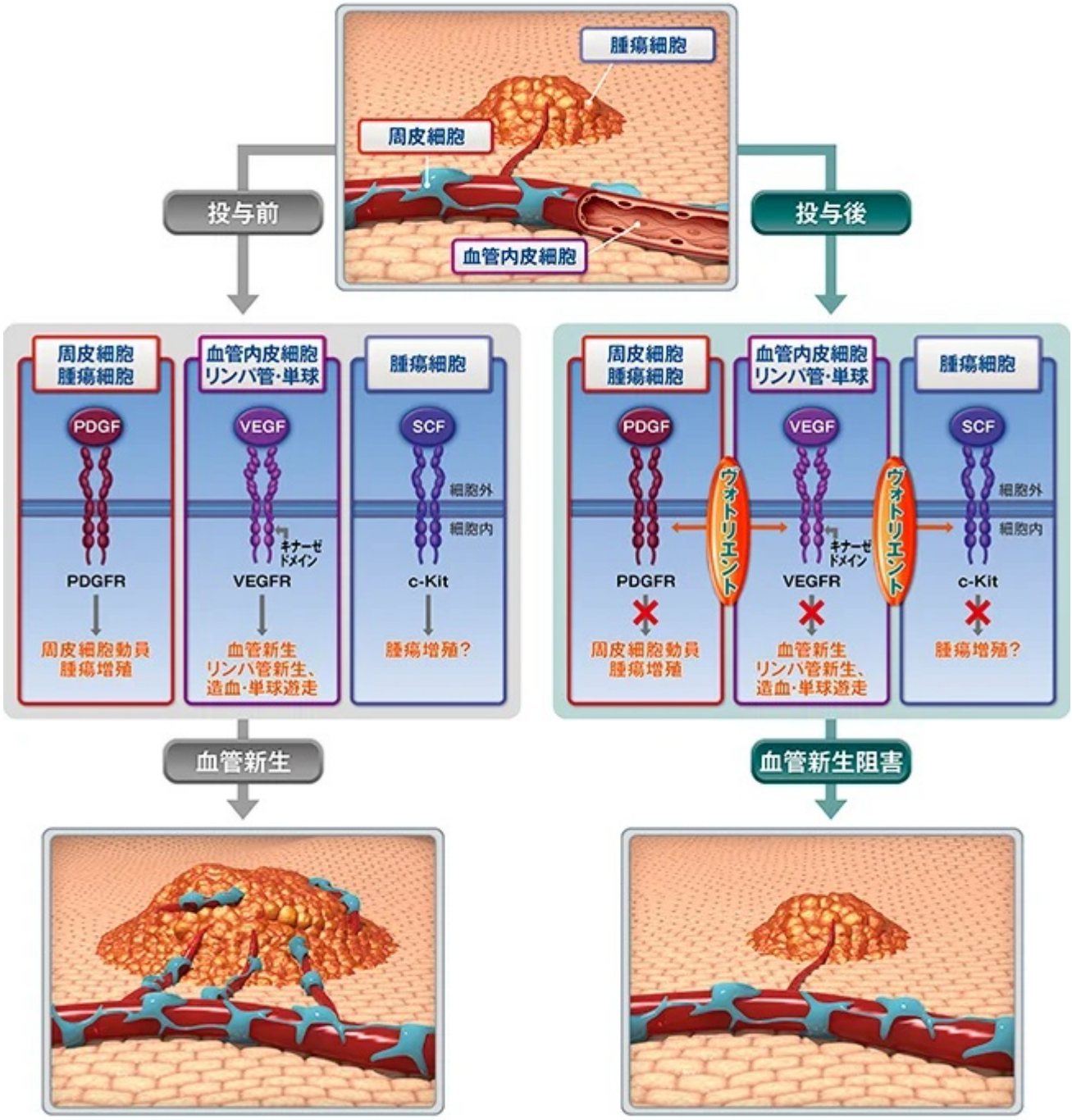
腎細胞がん

作用機序

ヴォトリエント®はおもにVEGFR-1、2、3、PDGFR-α、βおよびc-Kitに対して阻害作用を示す経口のマルチキナーゼ阻害薬である。
ヴォトリエントはVEGFRおよびPDGFRの活性化を阻害し、腎細胞癌の増殖に関わる血管新生を阻害することにより、腫瘍増殖を抑制すると考えられる。

ヴォトリエントの作用機序（模式図）

Image



ヴォトリエントの作用機序（模式図）

腫瘍細胞
周皮細胞
血管内皮細胞
投与前
投与後
周皮細胞
腫瘍細胞
血管内皮細胞
リンパ管・単球
腫瘍細胞
PDGF
VEGF
SCF
細胞外
細胞内
キナーゼドメイン
PDGFR
VEGFR
c-Kit
周皮細胞動員
腫瘍増殖
血管新生
リンパ管新生、
造血・単球遊走
腫瘍増殖？
ヴォトリエント
ヴォトリエント
血管新生
血管新生阻害

新井 裕幸ほか.: 日薬理誌 141, 37-42（2013）より改変

腎細胞がん一覧へ戻る

弊社製品についてのお問い合わせ

お問い合わせ

Source URL: *https://www.pro.novartis.com/jp-ja/products/votrient/rcc/behavior*